

市民公開講座2015



けいはんなから「知の発信」

開催場所／国立国会図書館関西館内大会議室



定員／各回150名

(申し込み制、先着順)

受講料 無料

▶市民公開講座開催にあたって

平成12年より毎年秋に、関西文化学術研究都市(けいはんな学研都市)に立地している大学(奈良先端科学技術大学院大学、同志社大学、同志社女子大学、大阪電気通信大学、関西外国語大学、大阪国際大学)の共同企画によって、市民公開講座を開催してまいりました。昨年からは京都府立大学が、今年は奈良学園大学も新たに参加し、8大学市民公開講座として開催いたします。

会場は、毎年ご好評いただいております国立国会図書館関西館大会議室を使用し、今回は、国立国会図書館関西館も1講座を担当します。

講座は、「けいはんなから「知の発信」」をキーワードに、最新の研究事例や一般市民の方々に関心の高い分野について分かりやすく解説いたします。

近隣にお住いの市民の方々だけでなく、学研都市での知的活動にご興味のある多くの方のご参加をお待ちいたしております。

第1回 ▶ 9月4日(金)

13:00~14:10 考古学から探る出雲神話の謎～なぜ“出雲”なのか～

関西外国語大学 英語国際学部 教授(専門分野:考古学)

さこ かずえ
佐古 和枝

14:25~15:35 米タンパク質の科学～基礎から応用まで～

京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 教授

ますむら たけひろ
増村 威宏

15:50~17:00 あなたはボノボ? それともチンパンジー?～きょうだい種にみるヒトの性～

国立国会図書館関西館 関西館小展示関連講演 京都大学 霊長類研究所 教授

ふるいち たけし
古市 剛史

17:00~17:30 関西館小展示説明及び小展示見学(希望者のみ)

第2回 ▶ 9月11日(金)

13:00~14:10 ビッグ・データ・バイオロジー～医食同源と生態学の体系化に向けて～

奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 教授

かな や
金谷 重彦

14:25~15:35 しぐさでわかる人間関係～非言語コミュニケーションの科学～

大阪電気通信大学 情報通信工学部 情報工学科 教授

こもり まさし
小森 政嗣

15:50~17:00 多文化多宗教共生社会をめざすトルコ～マイノリティであるアレヴィー関連諸集団を中心にして～

大阪国際大学 国際教養学部 教授

さしま たかし
佐島 隆

第3回 ▶ 9月18日(金)

13:00~14:10 グローバル社会の変化と地球環境問題～東アジアにおける環境協力～

同志社大学 グローバル地域文化学部 准教授 アイスン ウヤル マキバヤシ (アイスン ウヤル(横林))

14:25~15:35 糖尿病とともに生活すること～できることから始めよう～

同志社女子大学 看護学部看護学科 准教授

みつ き さちこ
光木 幸子

15:50~17:00 ストレスの正体～こころとからだに出現するストレスの症状とその対策～

奈良学園大学 保健医療学部 教授

なかかわ あきら
中川 晶

主催: (公財)関西文化学術研究都市推進機構、国立国会図書館関西館、奈良先端科学技術大学院大学、同志社大学、同志社女子大学、大阪電気通信大学、関西外国語大学、大阪国際大学、京都府立大学、奈良学園大学 (事務局: (公財) 関西文化学術研究都市推進機構内)

後援: (公財)国際高等研究所、(株)けいはんな

9月4日(金) 第1回

13:00~14:10

考古学から探る出雲神話の謎 ～なぜ「出雲」なのか～

関西外国語大学 英語国際学部 教授(専門分野:考古学) **佐古 和枝**



古事記・日本書紀の神話のうち、半分近くは出雲の神々のお話です。出雲のササノハ神は天皇家の祖神・天照大神の弟、そして地上世界の葦原中国の最高神は出雲の大国主命とされています。なぜ、出雲だったのでしょうか?文献史学ではうまく説明できないこの謎を解くカギは、考古学にありそうです。近年の山陰における発掘調査や考古学の研究成果から、出雲神話の意味するところを考えてみましょう。

14:25~15:35

米タンパク質の科学 ～基礎から応用まで～

京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 教授 **増村 威宏**



米の主要成分はデンプンですが、タンパク質も約7%含まれています。米タンパク質は胚乳組織で合成され、次世代の栄養成分としてタンパク質顆粒に蓄積されます。これまでに米タンパク質の合成・蓄積の仕組みを分子レベルで明らかにしてきました。その仕組みを用いてワクチン抗原を胚乳で生産し、タンパク質顆粒に蓄積することで、米を経口ワクチンとして利用する技術を開発しました。本講演では、米タンパク質に関する科学的な知見を基礎から応用に至るまでわかりやすく解説します。

15:50~17:00

あなたはボノボ? それともチンパンジー? ～きょうだい種にみるヒトの性～

国立国会図書館関西館 関西館小展示関連講演 **ふるいち たけし**
京都大学 霊長類研究所 教授 **古市 剛史**



人類発祥の地アフリカに住む2種の類人猿チンパンジーとボノボ。いずれもヒトに最も近い類人猿だが、その行動には大きな違いがある。メスをめぐってオスたちが激しく競合し、高い社会的知能や高度な道具使用を行うチンパンジーと、メスが主導権をにぎる比較的平和な社会で暮らし、高度な社会的駆け引きや道具使用をみせないボノボ。これら2種のきょうだいたちの性格もつまたちヒトは、これからの地球社会をどう生き抜いて行くのだろうか。

9月11日(金) 第2回

13:00~14:10

ビッグ・データ・バイオロジー ～医食同源と生態学の体系化に向けて～

奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 教授 **かなや しげひこ**
金谷 重彦



2009年、Jim Grayの「第4のパラダイム:データ集約型の科学的発見」がもととなって、データサイエンスという研究分野が提案された。データサイエンスとは、データにもとづいて科学の分野間を横断し、現象を解析し、政策決定などの意思決定にまでつなぐことが目標であり、研究対象として、地球環境、医療、ライフサイエンスが挙げられる。本講演では、食品、生薬ならびに生態系の理解を目指し研究開発が進められているKNpSack Family DBならびにその活用例を紹介する。

14:25~15:35

しぐさでわかる人間関係 ～非言語コミュニケーションの科学～

大阪電気通信大学 情報通信工学部 情報工学科 教授 **こもり まさし**
小森 政嗣



私達は日々の生活の中で、姿勢や身振り、視線、癖、表情など言語以外の方法を使って様々なメッセージを互いに伝えています。この講座では、このような非言語コミュニケーションの心理学についてお話します。中でも、親密な関係の二人の身体の動作のタイミングが同期したり姿勢や話し方が類似したりする「シンクローニ」といわれる現象(ミラーリングとも呼ばれます)の役割について様々な事例を紹介しながら解説していきます。

15:50~17:00

多文化多宗教共生社会をめざすトルコ ～マイノリティであるアレヴィー関連諸集団を中心にして～

大阪国際大学 国際教養学部 教授 **さしま たかし**
佐島 隆



現在トルコ共和国は、トルコ人だけではなくクルド人やアレヴィーという人々などさまざまな言語集団や文化的諸集団が共存している。その多様な状況を把握し、共生できる社会をめざして、その方策を考えてみたい。今回はアレヴィー諸集団やアラウィー派の人々を中心にして考察してみたい。

9月18日(金) 第3回

13:00~14:10

グローバル社会の変化と地球環境問題 ～東アジアにおける環境協力～

同志社大学 グローバル地域文化学部 准教授 **アイスン ウヤル マキバヤシ**
Aysun UYAR MAKIBAYASHI
(アイスン ウヤル横林)



環境問題は国境と関係せず、ローカルなレベルから地球レベルまでいろいろな規模で発生しています。また、グローバル社会の変化により、自然環境に対する影響や圧力もかけられています。講演では、21世紀の地球環境問題の事情と国際連合レベルで実施されている国際対策システムについて紹介します。また、環境問題を理解および解決するために、国内だけでなく、関係する各国で対策を講じなければなりません。その例として、東アジアにおける環境協力についていろいろな事例を加えながらお話させていただきます。

14:25~15:35

糖尿病とともに生活すること ～できることから始めよう～

同志社女子大学 看護学部看護学科 准教授 **みつ き さちこ**
光木 幸子



糖尿病は年々増加傾向にあります。その予防と発症後に重要となるのは、「運動」と「食事」を中心とした日々の生活です。糖尿病は血糖が安定すると自覚症状がほとんどなく経過しますが、治療の中断や高血糖の状態が続くと心臓血管障害のリスクを高め、神経障害、網膜症、腎症、足病変といった合併症を併発し、生活の質に大きく影響を及ぼします。元気で幸せな生活を過ごすために、工夫できることを一緒に考える機会になればと思います。

15:50~17:00

ストレスの正体 ～こころとからだに出現するストレスの症状とその対策～

奈良学園大学 保健医療学部 教授 **なかかわ あきら**
中川 晶

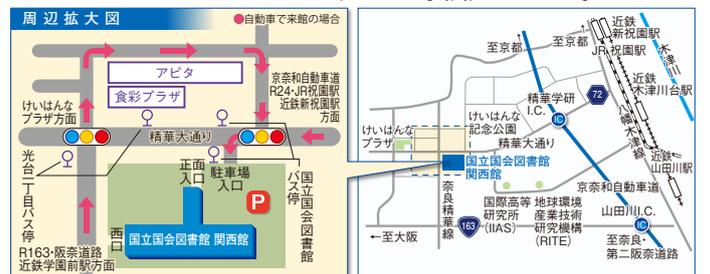


複雑な人間関係、過剰な情報、多様な価値観など、現代人の生活はストレスに満ちています。これらのストレスが現代病といわれるうつ病、パニック障害、心身症などと結びつきます。今回はストレスの正体を精神医学、心理学の分野から解説して、ストレスとのつきあい方を考えてみます。

Information

■会場/国立国会図書館関西館内 大会議室

京都府相楽郡精華町精華台 8-1-3 URL <http://www.ndl.go.jp/jp/service/kansai/guide/route.html>



- 電車・バスご利用の場合
 - 近鉄京都線「新祝園駅」、JR 学研都市線「祝園駅」下車
奈良交通バス36系統「祝園駅台光循環」、56・58・59系統「学研奈良登美ヶ丘駅行き」もしくは37系統「けいはんなプラザ行き」で約10分「国立国会図書館」下車
精華くるりんバス 約15分「アビタ・コーナ前」下車
 - 近鉄けいはんな線「学研奈良登美ヶ丘駅」下車
奈良交通バス56系統・59系統「祝園駅行き」で約15分「国立国会図書館」下車
- 車でお越しの場合
京都方面より: 京都→城陽 IC(京奈和自動車道)→精華学研IC→精華大通りを西へ
大阪方面より: 国道163号→府道52号(奈良精華線)を北へ
奈良方面より: 国道24号→国道163号→府道52号(奈良精華線)を北へ
※駐車場(346台)・駐輪場があります。午前9時30分から午後6時までご利用いただけます。

市民公開講座参加申込先 **FAX: 0774-95-5104** または **https://keihanna.biz/forms/reg/citizen2015.html**

※FAX送信の際には、番号をお確かめのうえ送信ください。

参加申込用紙 参加ご希望の方は、FAXまたはWEB専用申し込みページで上記までお申し込みください。本紙にてお申し込みの方には参加証を返信いたしますので、必ずFAX番号をご記入ください。

参加希望	<input type="checkbox"/> 第1回	<input type="checkbox"/> 第2回	<input type="checkbox"/> 第3回
氏名	フリガナ		
連絡先	TEL ()	—	
	FAX ()	—	
	メールアドレス	@	
第1回講義終了後 小展示見学(約30分)		<input type="checkbox"/> 参加する	

■お申し込み・お問い合わせ / **TEL .0774-95-5105**
公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構 事業推進部